

事業番号	05 07 15	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	介護支援課	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり			E-mail	kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp	
		1 高齢者福祉の推進			実施期間	H21 ~	

1 事業の概要

目指す姿	県内市町村等が第5期介護保険事業計画に基づいて進める施設整備等を支援し、介護サービス基盤の充実を目指す。	
現状	平成23年度までの第4期介護保険事業計画期間において、国の交付金を積み立てた基金を活用し介護施設の大規模な前倒し整備を進めてきた。基金事業の実施期限がH26年度まで延長され、国の経済対策により基金を積み増したため、基金を有効活用して施設整備を進める必要がある。	

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 国の交付金を積み立てた基金を有効活用しながら実施することが効果的である 介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金交付要綱
	県民との協働による実施：困難	

事業内容	① 成果目標 (H25)					
	○地域密着型施設の整備 55か所(見込み)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
	1. 介護基盤緊急整備等特別対策事業	補助金	小規模多機能型居宅介護事業所等(55か所) 前年度からの繰越事業	2,519,471 0	2,117,026 123,500	151,023 0
2. 栄村高齢者等被災者サポート事業	補助金	高齢者等被災者サポート拠点の運営費補助	50,000	0	0	
3. 積立金及び国庫返還金	直接	積立金【返還金、基金運用益(年間平均運用額25億円)、前年度からの繰越事業不執行分(116,000千円)】	624	138,381	38	
		国庫返還金(被災地健康支援事業運用益)	0	1	0	
合計			2,570,095	2,378,908	151,061	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	1,105,917	161,276	239,500	460,200
	当初予算	3,320,402	1,209,719	2,570,095	151,061
	補正予算	-724,021	2,254,974	32,277	
	合計(A)	3,702,298	3,625,969	2,841,872	611,261
	国庫支出金	264,115	2,332,445		
	県債				
	その他(繰入金等)	2,332,266	1,132,248	2,602,372	151,061
	一般財源	1,105,917	161,276	239,500	460,200
	決算額(B)	3,521,906	3,363,953	2,378,908	
概算職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.00	
概算人件費(C)	12,387	12,387	12,387	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	3,534,293	3,376,340	2,391,295	619,519	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26
		目標	成果	達成状況	目標
地域密着型施設の整備	45か所	55か所	55か所	達成	4か所

目標に対する成果の状況	目標の施設整備数を達成し、介護サービス基盤を充実させた。
-------------	------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ○介護基盤緊急整備等臨時特例基金については、基金事業が平成26年度まで延長されたため、基金残額を有効に活用して必要な支援を行う。 ○不足分は、国に対し地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金の協議を行い対応する。
--------------------	---